

都立病院の充実を求める

連絡会ニュース

〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10
電話 03-6912-1871 FAX03-6912-1872 メール thei41822@blue.ocn.ne.jp 2020・8・12 第87号

副知事に対し新型コロナウイルス感染症拡大を阻止するための緊急要請を実施

8月7日、「連絡会」は小池都知事あてに「新型コロナウイルス感染症拡大を阻止するための緊急要望書」を提出しました。

要請内容は7項目です。①エピセンターを明確にし、その地域の住民、在勤者にPCR検査を実施すること、②保健所の拡充、③感染リスクの高い施設に勤務するすべての職員に定期的にPCR検査を実施すること、④陽性者の隔離・保護・治療体制の確保と、医療施設外での保護・隔離では看護師や保健師を常駐させること、⑤医療機関、介護・福祉施設

への財政支援、⑥都立・公社病院独立行政法人化の撤回、⑦都としてPCR検査の徹底と自粛にもなう補償を国に求めること。

副知事は財源がないとしてPCR検査の拡充に難色

対応した梶原洋副知事は、「都としてもPCR検査の充実を図ることで努力している。今は8,600だが、各検査機関への機器の導入補助も行っている。全国民がPCR検査を受けるようなことは現実的ではないし、そのような立場はとっていない。PCR検査が自由診療で40,000円として1,400万都民が受けたら財源はどうするのか。ゼロリスクはあり得ない。いつでも、どこでもPCR検査を行うという立場には立っていない。国の財政支援には不満もあるが、当然求めていく。介護施設や障がい者施設などは戦略的に検査を実施

していく。保健所が逼迫していることは認識しており、出来るだけの応援をしていく」と述べました。

副知事 都立・公社病院の独法化撤回を拒否

また、「都立・公社病院の独法化については撤回する考えは全くない。補助金削減のためではなく質の高い医療を機能的、効率的に提供するためにやる」と強調しました。

「連絡会」としては、小池知事が具体的に都の対応について説明するよう求め、コロナ禍の中での独法化は絶対にやめるべきだと訴えました。要請には藤田りょうこ都議が立ち会いました。

駒込病院・大塚病院の守る会が共同で巣鴨駅宣伝

7月31日の巣鴨駅宣伝は、駒込病院守る会と大塚病院守る会が共同で取り組みました。文京区地盤の立憲民主党松尾さん、文京区議の萬立さん・国府田さん、い



新型コロナ禍と猛暑の中でも各守る会は宣伝・署名活動で奮闘中！



巣鴨駅宣伝行動の様子です。私はフェイスシールドに顔書いてイヤリング、胸には「小池にはまってさあ大変」と名札をつけて宣伝しました。

つも支えていただく文京区の福手を下さる方など、学生さんたちもさん、石沢さんなど17名の参加で 多かったので少しは聞いてもらえ68筆集まりました。暑くて大変でしたと思います。

たが、立ち止まり話する方、拍手

多摩メディカルキャンパスを良くする会は国分寺駅で宣伝

多摩メディカルキャンパスを良くする会は8日、11名の参加で16時～17時、国分寺駅南口で宣伝行動しました。机の上に置いた署名には13名

の方が協力してくださいました。30分ほど、目の前でずっと聞いていた10代の青年にはQ&Aを渡しました

